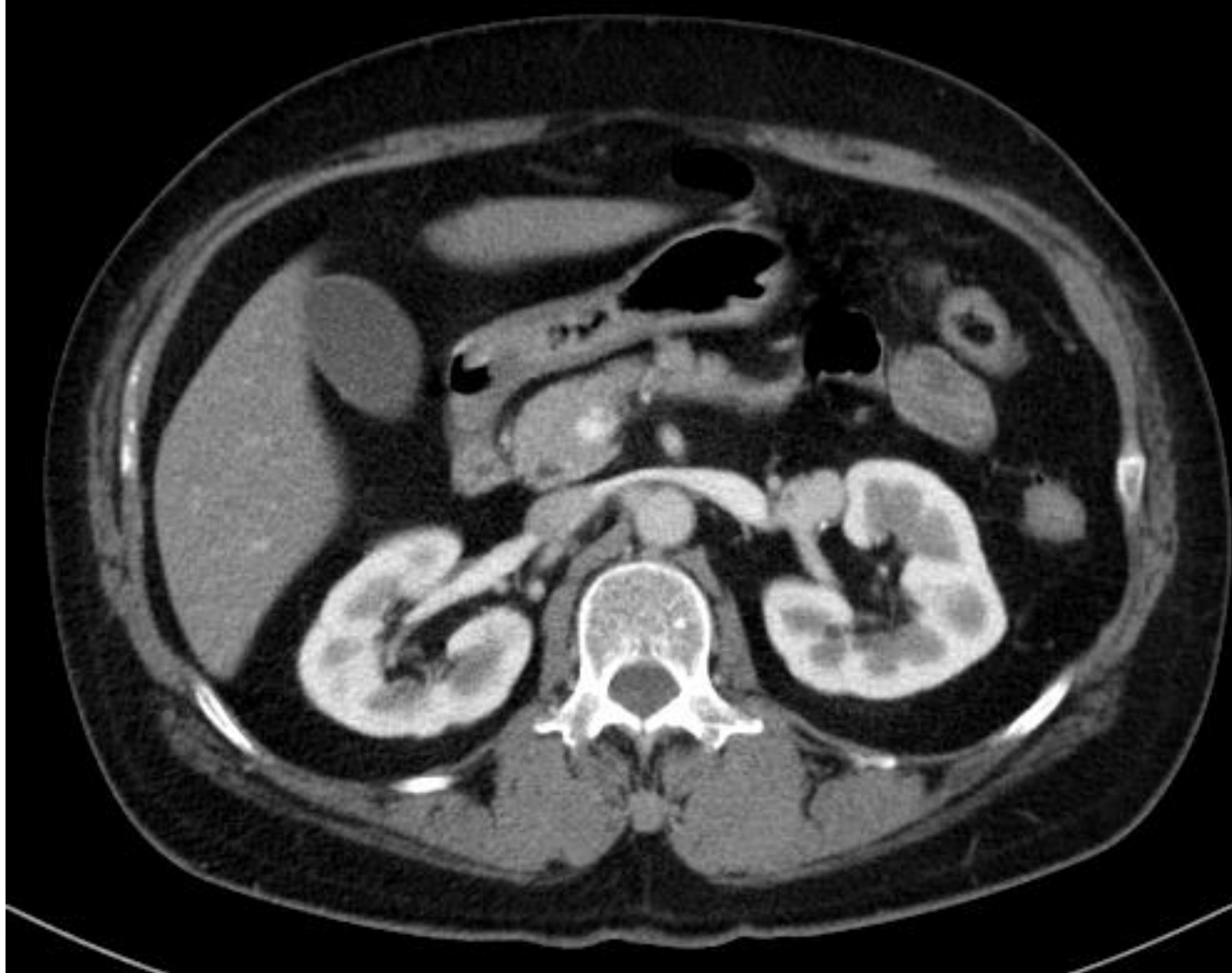


子宮体癌合併腎動脈瘤塞栓術

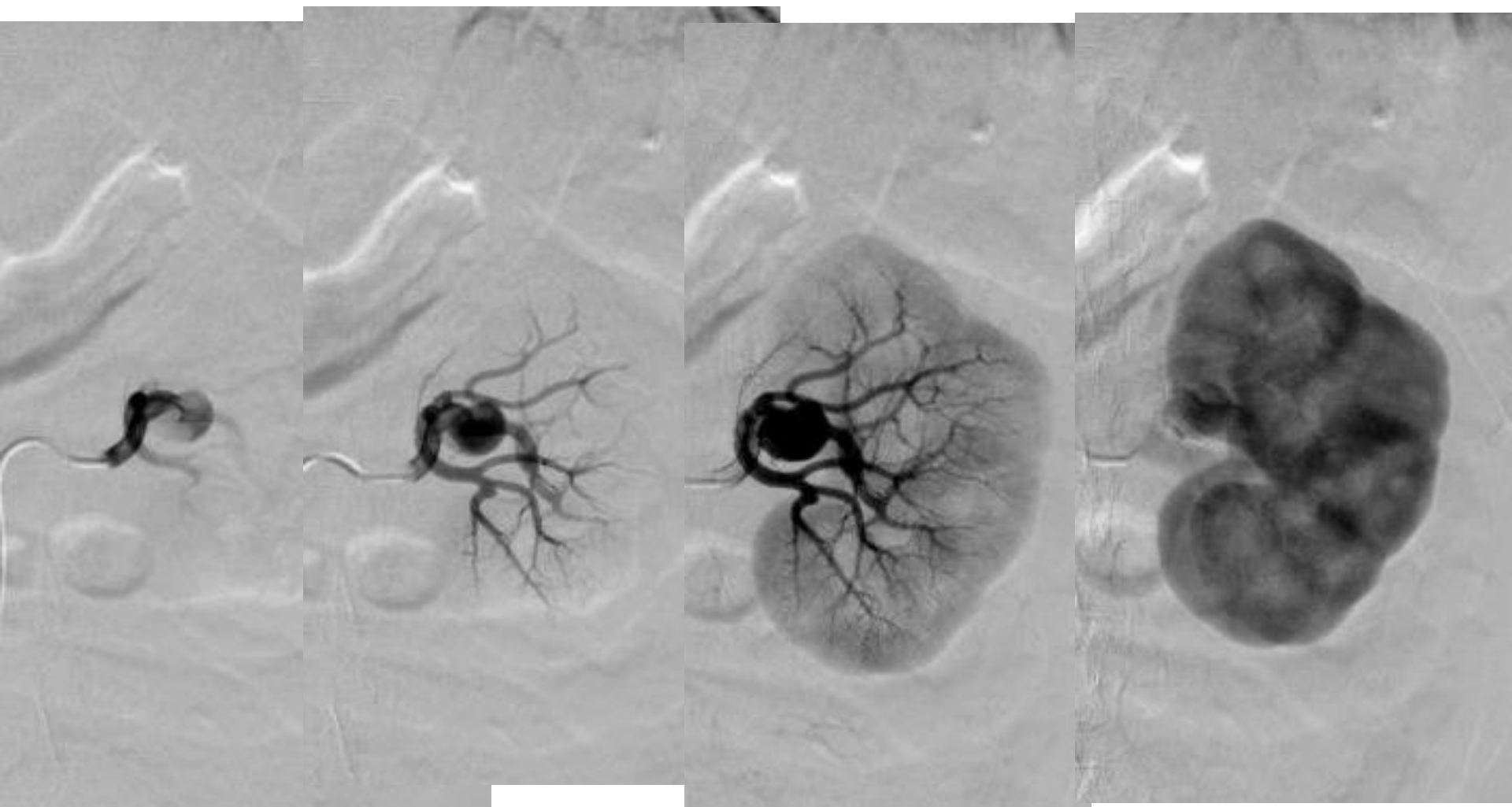
60代 女性

- 子宮体癌術前

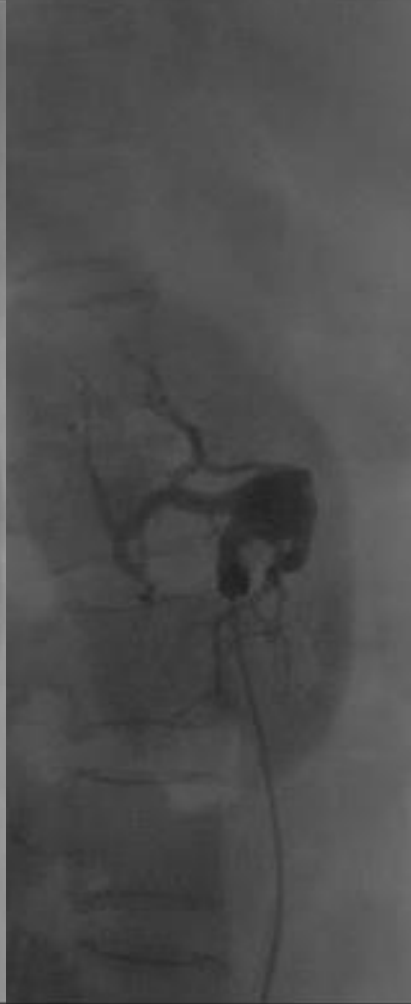
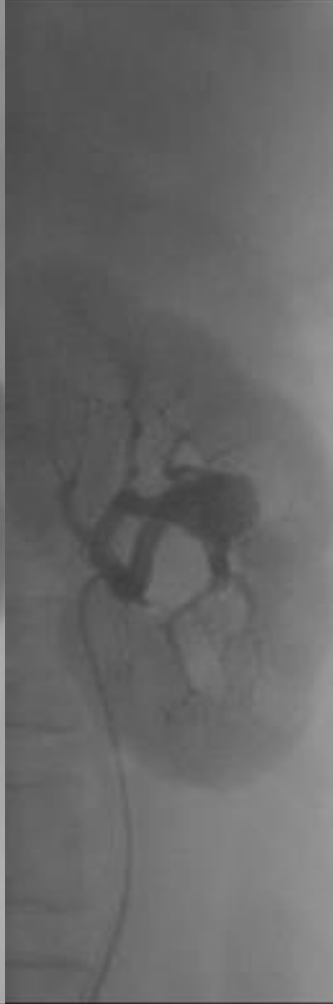
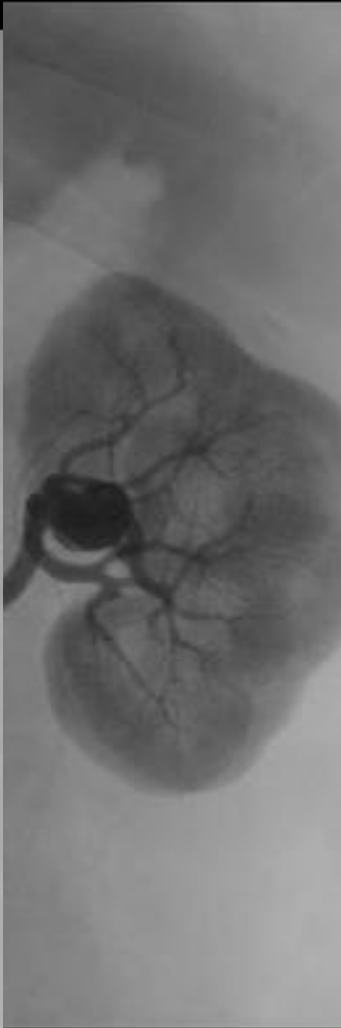
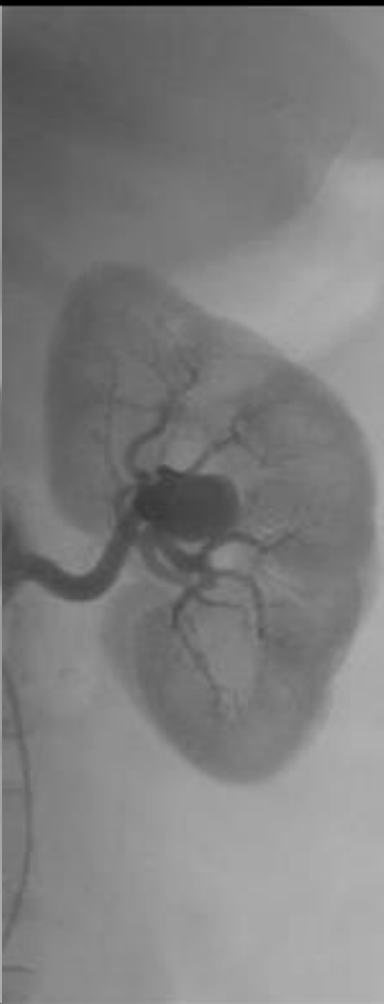
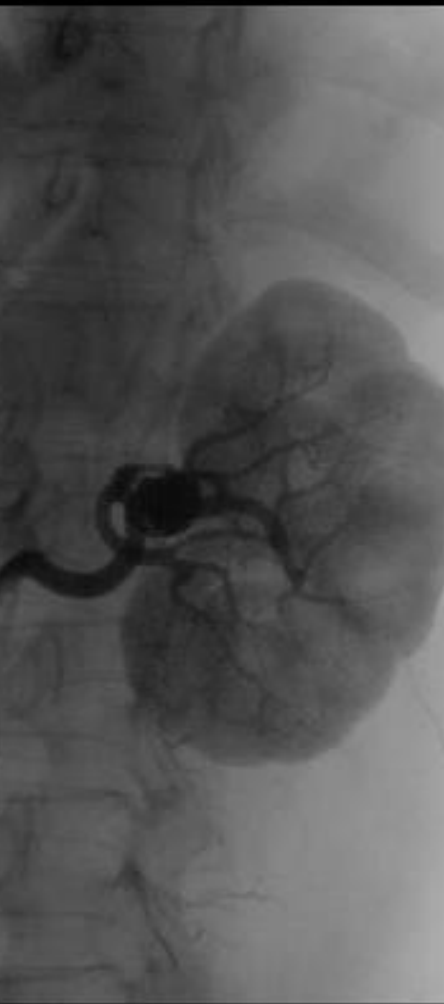








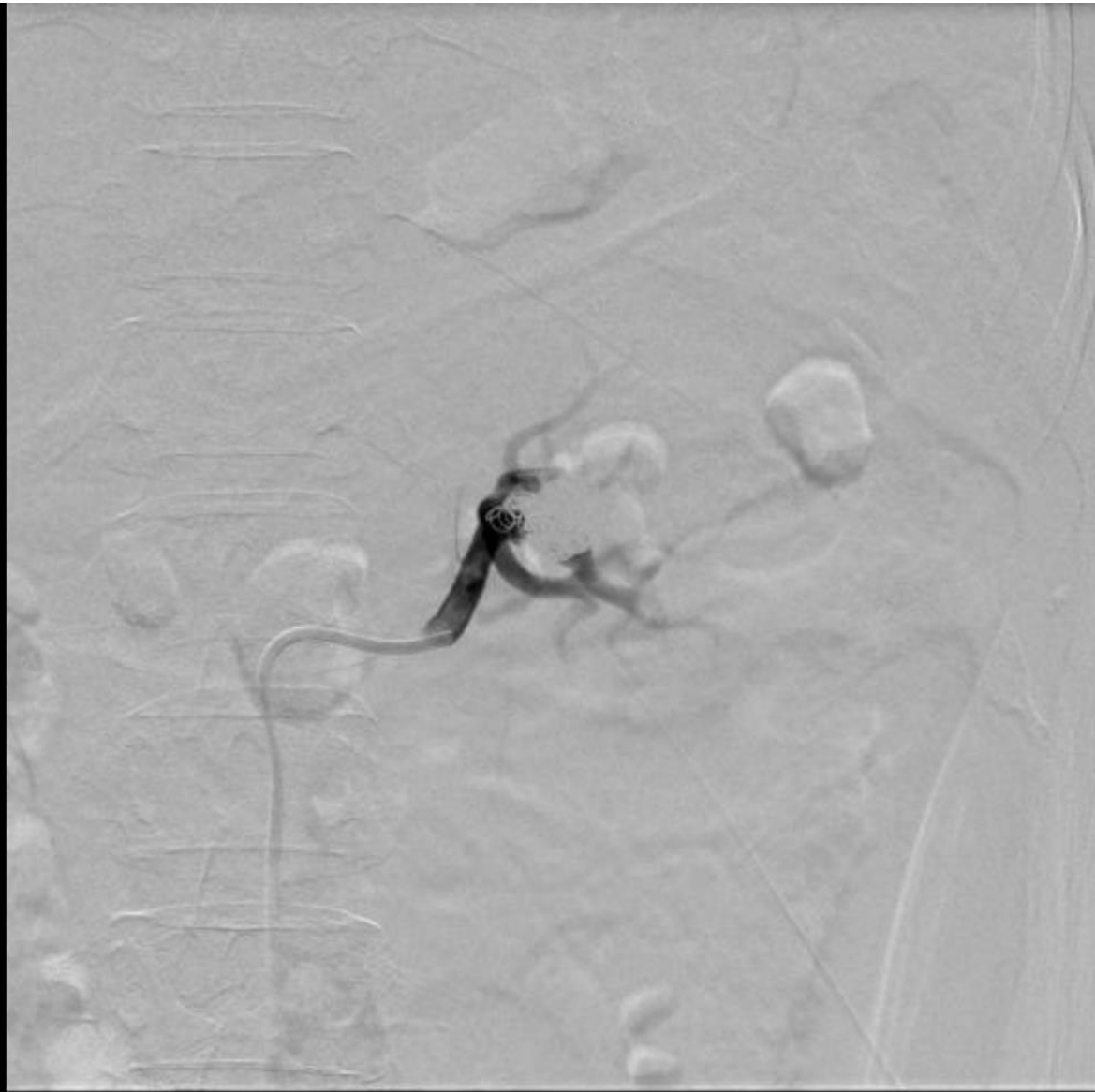






壁側枝





腎動脈瘤塞栓術

- 腎動脈瘤：長径約16mm。
- その頸部は腹側枝-壁側枝の分岐部に位置しており、壁側枝の径の方が大きいため左大腿動脈より6Frイントロデューサーを挿入。
- アテンダントカテーテルを腹側枝起始部に留置して膨らませ、マイクロカテーテルシステムを右大腿動脈からのカテーテルを通じて挿入。
- 16mm3D GDC、14mm 3D GDC、10mm3D GDC
- 10mm2D GDC、2mm × 5mmボルテックスコイル計9個
- 2mm × 4mmボルテックスコイル。
- 2mm × 5mmボルテックス4個を挿入した時点でゲージとして挿入していたコイルが頸部側にはみ出てきたため手技を終了。
- 造影を行い、頸部側に若干の内腔残存を確認、手技を終了した。